

科目名	旅行業務論	科目コード	1242	単位数	2
担当者名	加藤 由紀子	開講セメスター	第5セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	講義	実務経験	無		

● 授業のねらい

国内旅行業務取扱管理者は、旅行者は各営業所ごとに「旅行業務取扱管理者」を1名以上選任し、一定の管理及び監督業務を行わせることが法律で義務付けられています。国内旅行業務取扱管理者試験は、旅行業法に基づき実施されるもので、「旅行業法及びこれに基づく命令」、「旅行業約款、運送約款及び宿泊約款」、「国内旅行実務」の3科目で毎年9月上旬に行われる国家試験です。
国内旅行業務取扱管理者試験の出題範囲は、旅行業のみならず、交通機関や地域のDMOなど観光関連の団体でも必要な知識ともいえます。出題科目に取り組むことで、旅行業を中心に観光素材の基礎知識を、試験対応をしながら実践的に学ぶことをねらいとします。

● 到達目標

各種の交通機関の約款や運賃料金を学ぶことにより、日本の国内旅客運送に関する幅広い知識の理解を深めると共に、試験対応力を身につけることを目標とします。

● 授業内容

- 1週目 オリエンテーションと学習の仕方、JR営業規則 総則
- 2週目 JR営業規則 旅客営業
- 3週目 JR運賃計算の原則と計算実務解説
- 4週目 JR運賃計算の特例と計算実務解説
- 5週目 JR料金計算の原則と計算実務解説
- 6週目 JR料金計算の特例と計算実務解説
- 7週目 JR団体の取り扱いと計算実務解説
- 8週目 JR運賃計算の変更や取り消し原則と計算実務解説
- 9週目 JR運賃のまとめと理解度チェック
- 10週目 航空約款と航空運賃の基礎知識と計算の原則及び取り扱い実務解説

- 11週目 貸し切りバス約款の基礎知識と計算の原則及び取り扱い実務解説

- 12週目 フェリー約款の基礎知識と計算の原則及び取り扱い実務解説

- 13週目 宿泊約款の基礎知識と計算の原則及び取り扱い実務解説
- 14週目 これまでのまとめ 理解度チェック

- 15週目 重要ポイントの振り返りとセメスター末試験
- 16週目 やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は、補講授業を行います。

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

（予習）毎回の授業で提示される単元について、テキストのその単元について事前に問題に取り組んでください。（60分程度）
（復習）講義内容を振り返り、振り返りシートで確認をします。（60分程度）
振り返りシートは、講義次週もしくは、指定された日までに、講義後、もしくはメール添付で提出してください。

● 成績評価の方法・基準

振り返りシート（20％）理解度チェック（20％）セメスター末試験（60％）

● 履修上の留意点

授業に関するお知らせなどはCoursePowerから行うので、常に確認すること。
試験の全範囲を網羅的に学習するためには、旅行業務論 及び観光産業学科専門科目の観光関連法規も同時に全て履修することが望ましい。旅行業法の理論的知識は観光関連法規にて扱います。

● 課題に対するフィードバックの方法

提出されたテスト及び、セメスター末の試験は解説を行い、復習に向けたフィードバックを行います。

● テキスト

特になし

● 参考書

旅行業務論 ・ 、観光関連法規と共用です
JTB総合研究所「国内旅行業務取扱管理者試験 科目別速習問題集 2022」
旅行業務取扱管理者試験受験直前理解度チェック2022 アプリ版
各自Apple/Googleの各ストアで「旅行業務取扱管理者試験」で検索の上で、購入してください。
また、必要に応じ適宜Course Power上で紹介します。

● 更新日付

2022/03/10 02:50